

大地の声



柏市柳戸の杉野耕資さんは、約1.5haの圃場で、幸水・豊水・新高をはじめ、秋麗・あきづき・王秋など10種類の梨を、家族の皆さんと共に栽培しています。杉野さんが作る梨は人気が高く、圃場に直接買いに来るお客さん、配送を希望するお客さんが年々増えて、最近では市場へ出荷する梨が無くなるほどになりました。

詳しくは16ページをご覧ください

JA 組合員加入促進で全国表彰を受けました—西船地区女性部



伊藤はつ子会長（左）から表彰状を受け取る金子しのぶ部長



左より 勝田実組合長、伊藤はつ子会長、金子しのぶ部長、三須美千代副部長、小川佳子副部長、湯原靖雄常務理事

西船地区女性部はこの度、JA 全国女性組織協議会から、JA 組合員に加入する女性部員の増加率が令和元年度に全国 1 位となった事を讃えられ表彰を受けました。同地区女性部は加入促進のため、当 JA 事務局と連携して、未加入部員宅への戸別訪問、会議での説明等を行いました。JA 千葉女性部協議会は、女性の更なる JA 運営参画を進めようと、その第一歩として加入促進運動の実施を決定し、県内 JA 女性部に協力を依頼しました。同地区女性部はこの依頼を受けて活動を始めました。9 月 10 日に、JA 千葉中央会が当 JA 本店会議室で表彰式を行い、JA 千葉女性部協議会の伊藤はつ子会長が同地区女性部の金子しのぶ部長へ表彰状と記念品の目録を手渡しました。

令和元年度 JA 共済優績ライフアドバイザーに選出—当 JA ライフアドバイザー



前方左より 野口和希職員、大森春美支店長代理、勝田実組合長
横張真也係長、越前貴之職員
後方左より 川島翔平職員、引間勝也職員、湯浅拓哉職員

この度、当 JA のライフアドバイザーである東部支店の大森春美支店長代理、中根支店の横張真也係長、柏支店の越前貴之職員、川島翔平職員、西船支店の野口和希職員、湯浅拓哉職員、土支店の引間勝也職員が、全国共済農業協同組合連合会から [令和元年度 JA 共済優績ライフアドバイザー] に選出され、表彰を受けました。

この表彰は、令和元年度において、組合員や地域の皆様に生活設

計を提案する訪問活動を実施し、優秀な成績を収めた職員の功績を讃えて行われました。なお、例年開催されている表彰式典は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から今年は中止になりました。

千葉県警察本部より感謝状が贈られました—JA



左より勝田実組合長、礒野恒明野田警察署長

当JAの勝田実組合長はこの度、千葉県警察本部から感謝状を贈呈されました。9月8日に野田警察署で行われた贈呈式では、礒野恒明野田警察署長より感謝状と記念品が贈られました。

この感謝状は、多年にわたりさまざまな警察活動に協力し、功績を挙げた県内の部外功労者30名へ贈られ、勝田実組合長は野田警察官友の会役員として貢献したことが認められ警察運営の部門で表彰されました。

令和元年度の活動等について意見を交換しました—JA

当JAは8月28日、本店会議室で〔常勤役員・統括理事・地区運営委員会委員長との意見交換会〕を開催しました。

意見交換会には、管内6地区・6名の地区運営委員会委員長、管内4市を担当する4名の統括理事のうち、同委員長との兼務が無い1名の統括理事、当JA・5名の常勤役員が参加しました。この日は、同運営委員会と統括理事が令和元年度に行った取り組み等について報告した後、参加者が意見を交換しました。

なお終了後、参加者はJAとうかつ中央本店を訪れ、同JAの経営管理委員会について説明を受けました。



挨拶をする勝田実組合長

共撰出荷開始/出荷査定会を開催しました—野田予冷部会



規格や出荷に際しての注意点などを確認しました

ハウレンソウとシュンギクの共撰出荷開始を受けて、野田予冷部会は9月4日、旭支店会議室で出荷査定会を開催しました。

査定会には、生産者をはじめ、市場2社、東葛飾農業事務所、JA全農ちば、当JAの職員が参加しました。この日は、藤井文男部会長の挨拶後、まずJA全農ちばの職員が、他産地の出荷状況などを報告。その後、市場2社の社員が中心になり、規格や出荷に際しての注意点などを確認しました。なお、同農業事務所

の職員は、台風時の農業用ハウス被災チェックリストを生産者へ配布して注意を呼びかけました。同部会では10月30日まで、共撰による予冷出荷を行う予定です。

「JAの自己改革に関する組合員調査」 集計結果のご案内

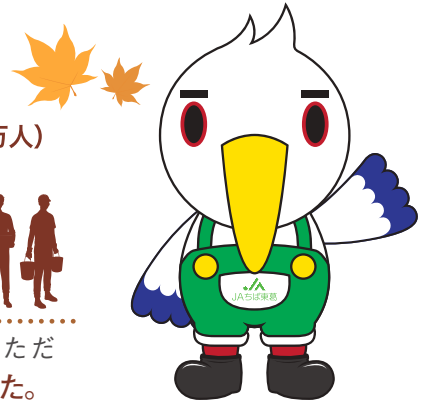
JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、自己改革に取り組んできました。これらの取り組みについて、組合員の皆さまからの評価をいただくため、平成30年12月から昨年12月まで、「JAの自己改革に関する組合員調査」を実施しました。このたび、皆さまからいただいた調査結果を、最終結果としてご報告いたします。

調査期間 平成30年12月～令和元年12月

調査対象者 全国の正・准組合員 (全国の回答者数は約390万人)

当JA回答者数 約 **8千2百人**

本調査では、当JAで8,179人(全国で3,902,603人)の組合員からご回答をいただきました。組合員の皆さまには、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。



自己改革への評価

～営農関連事業への「期待度」「満足度」「改善度」～

期待度



約7～8割が
「期待している」

JAちば東葛の「営農関連事業への期待度」について、営農事業では77.7%、販売事業では76.5%、購買事業では72.3%が「期待している」「やや期待している」との回答を頂きました。

満足度



約6割が「満足」
「やや満足」


「営農関連事業への満足度」は、営農事業で66.3%、販売事業で66.3%、購買事業では62.5%が「満足」「やや満足」との回答を頂きました。

改善度



約8割が「改善した」
「もともと良い」

「営農関連事業への改善度」は、営農事業で90.5%、販売事業で89.8%、購買事業では87.8%が「改善した」「改善しつつある」「もともと良い」との回答結果でした。

	期待度		満足度		改善度	
	「期待している」「やや期待している」の合計		「満足」「やや満足」の合計		「改善した」「改善しつつある」「もともと良い」の合計	
	全国	JAちば東葛	全国	JAちば東葛	全国	JAちば東葛
営農指導事業	80.7%	77.7%	66.7%	66.3%	83.9%	90.5%
農畜産物販売事業	76.6%	76.5%	61.4%	66.3%	84.5%	89.8%
生産資材購買事業	72.6%	72.3%	60.6%	62.5%	84.3%	87.8%

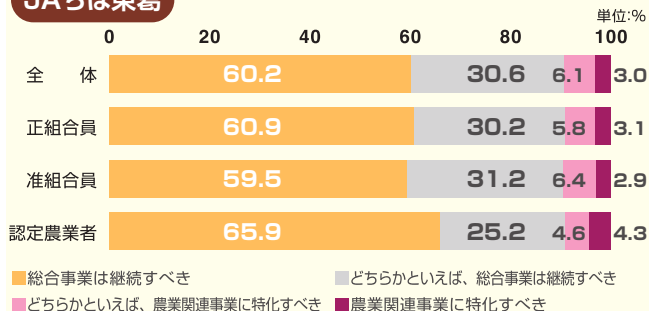
BANK

総合事業の必要性

私たちJAグループのめざすものは、総合事業を営む協同組合であり続けることです。調査結果では9割以上の組合員が総合事業を継続すべきとの回答をしています。JAグループの基本方向を裏付ける結果となりました。



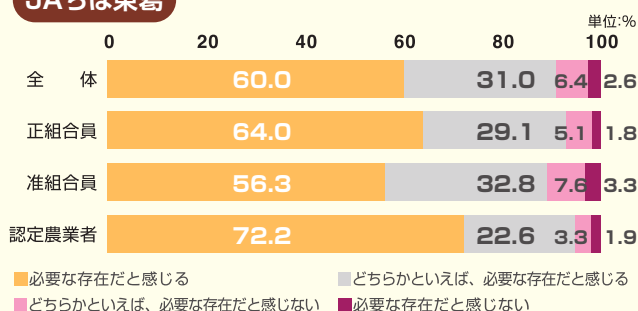
JAちば東葛



JAの必要性

JAの必要性に関しては、正組合員の93.1%、准組合員の89.1%が「必要な存在」「どちらかといえば、必要な存在」と肯定的に回答を頂きました。認定農業者で「必要な存在」としているのが72.2%で「どちらかといえば、必要な存在」を加えると94.8%に上り、全体の平均を大きく上回った結果になりました。

JAちば東葛

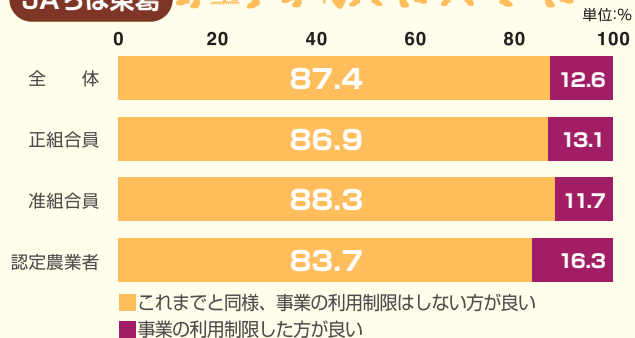


准組合員の事業利用制限

改正農協法では、令和3年3月末までに准組合員の事業利用制限を検討し、結論を得るとしていますが、組合員の約9割が「これまでと同様、利用制限はしない方が良い」と回答しています。



JAちば東葛

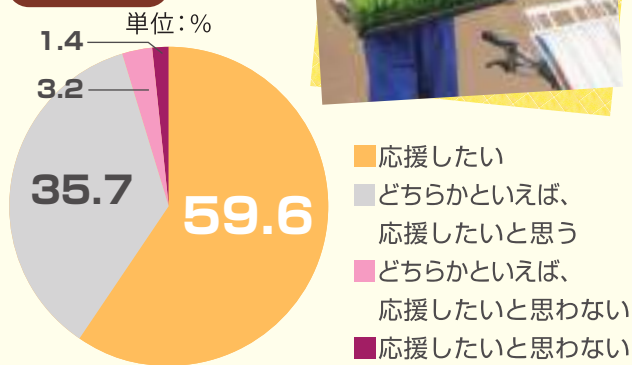


JAの地域農業の振興や地域づくり活動

准組合員の皆さんに対する設問です。回答した准組合員のほとんどがJAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと回答しています。



JAちば東葛



JAちば東葛はこれからも、組合員との対話を大切に、組合員の声に基づいて地域に必要なサービスを提供し、利用いただくことで、農業と地域を支えてまいります。



組合員の皆さまと可能な限り直接お会いして調査にご協力いただきました。



トピックス

管内産新米の収穫時期到来 拡販運動開始に合わせ食味会を開催—JA



ラッキーも参加して記念撮影



炊き上げた米を容器へ移す新入職員

当JAは9月15日、柏集出荷場で管内産新米の食味会を行いました。9月14日から始まった新米拡販運動に合わせ、新米を食べて士気を高めると共に、味や食感などについて意見交換をしました。

食味会には、当JA役職員の他、吉田光全農千葉県本部副本部長、河野克己同米穀部長、野田市、柏市、我孫子市の農政課職員が参加しました。今春入組した職員17名が中心となり、指導



福田支店での米検査

経済部職員が協力して、豚汁を作り、かまどとガス釜で野田市産黒酢米コシヒカリ、柏市と我孫子市産コシヒカリ、千葉県が開発した新品種・柏市産の[粒すけ]、計22.5kgを炊き上げました。参加者は試食し、味や食感などについて意見交換をしました。なお、当JAは管内産新米の収穫時期到来に合わせ、9月2日から米検査を開始。9月30日までに管内8支店1経済センターで計63回にわたり検査を実施しました。

秋のお米キャンペーン

バランスのとれた日本型食生活の中心である、お米を食べて健康な体を造りましょう!



キャンペーン期間▶令和2年9月14日(月)~12月30日(水)

★野田市産
コシヒカリ玄米(黒酢米)30kg
キャンペーン価格 **8,800円**(消費税込)

★野田市産コシヒカリ
ちばいちばん(黒酢米)10kg
キャンペーン価格 **3,790円**(消費税込)

★我孫子市・柏市産
コシヒカリ玄米30kg
キャンペーン価格 **8,700円**(消費税込)

★野田市産コシヒカリ
ちばいちばん(黒酢米)5kg
キャンペーン価格 **1,920円**(消費税込)

黒酢米とは?

当JA管内の野田地区生産者が、安全・安心農産物への取り組みとして黒酢を使用して減農薬栽培をした環境にやさしいお米です。

令和3年度用水稲育苗センター苗 予約受付中

水稲育苗センターでは、令和3年度移植用の水稲苗の申込みを受付しています。

- 販売品種 コシヒカリ（検査及び消毒種子使用）
- 10a 当たり使用基準 18 枚
- 使用土壌 合成培土（殺菌消毒済）
- 申込締切日 令和2年11月20日（金）
- 苗の種類 硬化苗
（播種後、25日前後ですぐに田植えができます）
- 販売価格（1枚当たり、税込）
 - ①5月6日までの引取り 865円
 - ②5月7日以降の引取り 835円
- 申込方法 引取り予定日を基準として、申込書（申込欄）に枚数を記入して、最寄りの支店又は経済センターへ提出してください。※予定分以外の追加苗は別途価格になります。
- 苗の配布方法 育苗センターにおいて引渡しいたします。
（水稲育苗センター住所 野田市目吹 856-1）
※育苗センターの生産能力又は生育状況により申込内容（引取り日）を変更することもありますので、予めご了承ください。
- 苗の申込取消し 令和3年3月19日（金）以降の申込取消しは、原材料費1枚当たり265円を申し受けます。
- お問い合わせ先 JA ちば東葛 野田地区経済センター（TEL 04-7129-6611）又は各支店まで
- 空箱の返却方法
 - (1) 使用後の空箱は根や土をきれいに落とし、水洗いをしてから10枚ずつ結束し、名札を付けて、田植え後1週間以内に各支店に返却をする。
 - (2) 返却にあたり、苗箱の不足や破損等については、1枚当たり265円を徴収させていただきます。



JAからのお知らせ

当組合は、法令違反等の不正行為の未然防止、早期発見及び是正を図り、組合のコンプライアンス経営の強化に資することを目的に所定の窓口に対して、相談もしくは通報することが可能な「ヘルプライン制度」を設置しています。

当組合の運営におけるコンプライアンスに関する事項（法令違反、不正行為、人事労務、ハラスメント関連、その他）について、見たり聞いたりした事柄があれば下記のいずれかの窓口宛に連絡くださいますようお願いいたします。

【組合内相談・通報窓口】 住 所 柏市高田 362
電話番号 04-7140-2215 FAX 04-7140-2216
Eメール y-someya@ja-chibatoukatu.or.jp
担 当 者 総務部部长 染谷幸夫

【組合外相談・通報窓口】 JA 千葉中央会「JA グループ千葉ヘルプライン」
電話番号 043-246-1880 FAX 043-246-1880

※お電話の場合は、月曜日から金曜日、午前9時から午後4時をお願いします。

組合内相談・通報窓口では、当組合の業務に関する一般的な苦情も受付いたします。

ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。